

篠路茨戸 広報

第105号

令和7年1月31日

篠路茨戸連合町内会

発行責任者 進藤 幸司

編集責任者 山口 重則

年頭のごあいさつ



篠路茨戸連合町内会 会長

進藤 幸司

明けましておめでとうござい
ます、年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、ご家族様お揃いで希望に満ちた新年を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より、連合町内会の運営に深いご理解とご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年の町内会・自治会が抱える1番大きな課題は、役員の担い手不足が深刻になっていることです。

私たちの住む篠路茨戸地区は、今から約40年前に住居を構えた団塊世代の方々が多く、現在では70歳以上の超高齢化を迎えております。

当時は、道路は砂利道、街路灯の増設、上下水道整備、ゴミ

ステーションの設置、街路花壇の整備、除排雪等の環境が未整備のため、役員をはじめ、会員の方々も町内会のまちづくりに関する提案があり、ひとつひとつ解決したものでした。

また、葬儀は、町内会がすべて取り仕切る時代でもあり、そこで会員同志の交流を深めることができ、よく役員を引き受けていただいたことを思い出します。

当時は、社会一般的に定年が55歳で、再就職する人は、ほとんどいない時代でありましたが、最近では、定年の延長で働くシニア層が増えたことが背景にあると思われます。更には、年金の支給年齢の引き上げにより、70歳を過ぎても働かなければ生活が苦しく、追い打ち掛ける様に、消費者物価の上昇が止まらない状況となっております。

その中で、ボランティア活動に参加する余裕はなく、社会情勢の変化にも影響があるものと思います。札幌市の調査によると役員の年代は、55%が70歳代が占めています。



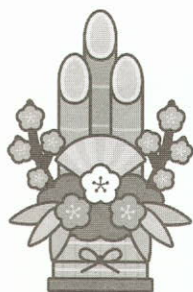
篠路茨戸連合町内会役員

会長	進藤 幸司
副会長	吹田 嘉弘
副会長	大沼 満
総務部長	藤林 昭二
庶務部長	島田 捷利
会計部長	吉田 剛
広報部長	山口 重則
環境部長	井形 信広
防災防犯部長	石田 則安
社会部長	三間 浩
交通部長	澤谷 祈心
文化部長	宮内 博美
女性部長	宇内 光枝
女性副部長	阿部 栄子
女性副部長	小林 美枝子
監事	岡田 泰一
監事	小貫 秀明

町内会の加入率の低下や役員の担い手不足は、各町内会が抱える共通の課題であり、そう簡単に解決できるものではありません。このため、行政だけでなく、民間企業などにも働きかけること、そして地域住民の若い世代の方々に理解していただき、新鮮な声を聴くことが大切であると思います。

これから、町内会の維持・継続をさせるためには、若い世代が参加しやすい環境を整えることが大切であり、まずは、町内会の行事に参加した人に積極的に声を掛け、顔見知りの関係を作ることが大切です。しかし仕事や家庭の事情により参加できない場合もあることを理解すると共に、若い人たちのアイデアや考え方を尊重するなど、活性化させていくために何が必要であるか、どのような方法があるかを考えることが重要であると思います。

結びになりますが、今年も昨年同様適合町内会の活動に更なるご支援お願い申し上げますと共に皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶



篠路出張所

(篠路茨戸まちづくりセンター)

所長 片岡 伯介

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

篠路茨戸地区の皆様方には、清々しく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、旧年中は、市政の推進、及び篠路茨戸まちづくりセンターの運営に對しまして、深いご理解と温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

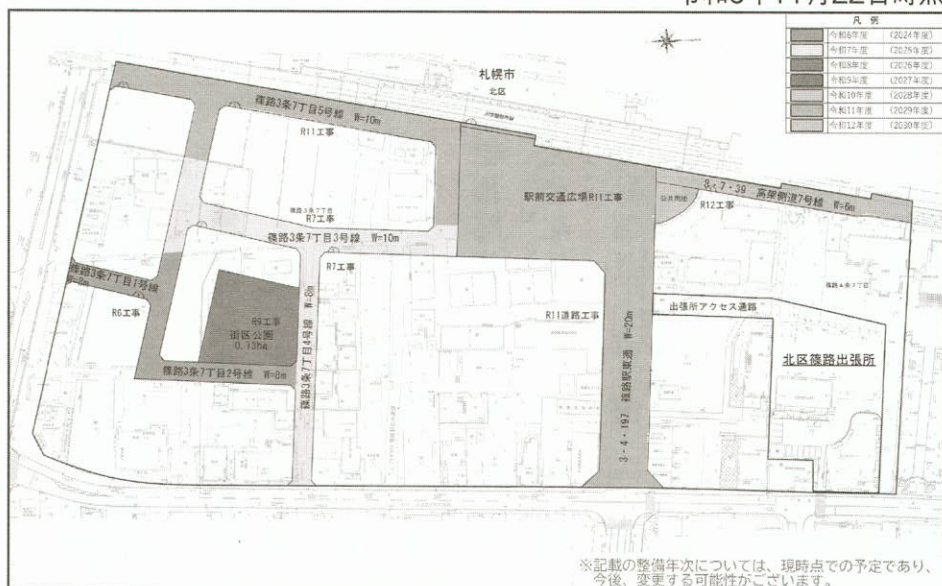
さて、昨年4月に篠路出張所所長(篠路茨戸まちづくりセンター所長)として着任してから、あつという間に9カ月が過ぎたところですが、これまで、しのろばらと夏祭り&納涼盆踊りや地域の様々な行事・研修会に参加させていただき、皆さまの地域活動に対する熱意を感じ私自身たいへん貴重な経験となりました。

今後も、地域の行事には積極的に参加させていただき、皆さまと共に篠路茨戸地区の魅力やコミュニティの発展に向けた取り組みへのご支援をさせていただきますので、引き続き、当まちづくりセンターの運営に對するご理解とご協力をいただ

けますと幸いです。

また、篠路駅周辺地区では、土地区画整理事業に関連する工事が動き始めますが、持続可能な地域社会の形成を目指すとともに、北区北部地域の生活を支える重要な地域交流拠点として、この篠路茨戸地区の社会基盤整備事業が、計画通り進むことを願っております。

令和6年11月22日時点



※記載の整備年次については、現時点での予定であり、今後、変更する可能性があります。

結びになります。が、本年が皆さまにとりまして夢と希望に満ちた1年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶



篠路茨戸地区

社会福祉協議会

会長 白 戸 黎 一

新年あけましておめでとうございます。平素から地域の皆様におかれましては

当地区社会福祉協議会の諸事業活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ようやく新型コロナウイルスも下火となり、以前の生活に戻れると安心しておりました。が、最近インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎等々が蔓延傾向にあります。皆様方にはお氣をつけてお過ごし下さい。

事業面では当地区連合町内会と共催による「赤い羽根共同募金」活動のご協力を頂きながら12月25日に終えました。この紙面をお借りして御礼申し上げます。

11月23日には2中学校・1高校によるボランティア活動実践発表、第2地域包括支援センターの「介護保険のしくみ」

等の解説を頂き「福祉のつどい」を開催、11月30日には最近多発傾向にある災害対応への実践研修会を当区連町、民児協、社協の三団体で共同開催、12月には「子ども餅つき・クリスマス会」を開催しました。

以前から餅つき臼・杵等一式の所有を検討していましたが、此度北門信金から助成金を受けることができましたので臼・杵等一式を購入しました。

新しき年を迎えるにあたり安心、安全に支えあう住み良い福祉の街づくりに向け、皆様のご協力を頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

年頭のご挨拶



札幌市篠路茨戸地区

青少年育成委員会

会長 清 水 和 夫

新年おめでとうございます

地域の皆様におかれましては、青少年の健全育成と非行化防止に、格別なるご理解と心温まるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年は、安全安心な「しのろば

らとの街づくり」と美化運動の一環として6月から8月まで3回に渡り地区公園パトロールを実施、9月には「親子ふれあいの旅」を実施、札幌市青少年科学館と札幌市下水道科学館を見学しました。今年も親子ふれあいの旅を実施します。尚、詳細決定次第お知らせしますので、是非ともご参加ください。

2月9日(日)篠路茨戸地区の冬を代表する一大行事「第48回のろばらとスノーフェスティバル」を篠路茨戸連合町内会と当委員会が主催、篠路茨戸地区子ども会育成連絡協議会と札幌市篠路茨戸地区社会福祉協議会が共催、関係諸団体支援により開催いたしますのでご来場をお待ち申し上げます。

年頭のご挨拶



篠路茨戸地区

民生委員児童委員協議会

会長 折 目 尚 愛

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、旧年中はひとかたならぬご指導、ご協力にあずかり誠にありがとうございますございました。

本年も一層の活動向上を目指し、委員一同誠心誠意努める所存でございます。

さて、令和7年度は、3年に一度の民生委員・児童委員全国一斉改選の年でございます。現在欠員委員も多くなり、福祉サービス向上の観点から、欠員委員を無くしたいと考えております。度重なるお願いで大変恐縮ではございますが、新任委員のご紹介のほどよろしくお願いいたします。

私たち民生委員・児童委員の活動の一つに、地域の皆様が末永く、篠路茨戸地域で暮らしていただけるようにお手伝いをしております。高齢者福祉や児童福祉、障がい者福祉など行政サービスや関係機関へお繋ぎしておりますので、少しでも生活向上の心配ごとや、お困りごとなど有りましたら、民生委員・児童委員は法律上守秘義務がございますので、安心してお気軽にご相談ください。

「民生委員・児童委員は、あなたの1番身近な相談相手」です。



各町内会の活動報告

令和7年 篠路茨戸連合町内会

新年交礼会開催の報告

広報部長 山口 重 則

令和7年1月4日(土)篠路コミュニティセンターにおいて篠路茨戸連合町内会新年交礼会が開催されました。

参加者は札幌市北区長 佐藤伸二様はじめ、国、道、札幌市の議会議員の皆様や企業の皆様、関連諸団体及び各単位町内会・自治会の方々合わせて124名のご参加をいただきました。

各テーブルでは、今年度の状況や来年度に向けての各活動等の意見交換が行われておりました。

祝宴には、太鼓演奏、阿波踊り等、余興も華やかに行われ盛り上がりました。

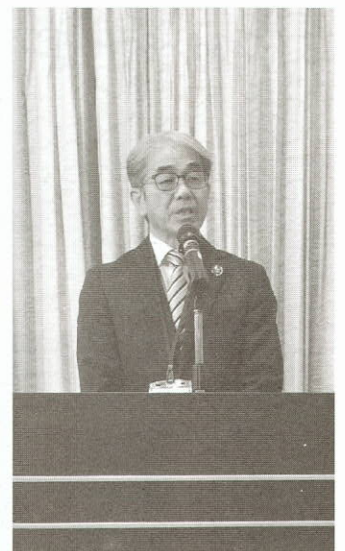
最後に篠路茨戸地区青少年育成委員会会長 清水和夫様の音頭により新年交礼会を締め切りました。



新年交礼会 会場風景



社会福祉協議会会長 白戸様より祝杯の音頭にて祝宴が始まりました



札幌市北区長 佐藤様より祝辞をいただきました

令和7年新年交礼会へお祝いをいただきました。
ありがとうございました。

企業・団体名称 (五十音順にて表記させていただきます)
アカツキ交通株式会社様
北区東地区除雪センター様
株式会社共同道路工業様
札幌市丘珠空港ビル株式会社様
株式会社札幌シャトレゼ様
篠路茨戸地区社会福祉協議会様
有限会社八王子商会様
丸新産業株式会社様
株式会社ミカタ様
労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団 札幌市篠路コミュニティセンター様



青少年育成委員会
会長 清水様より
乾杯の音頭にて
締めいただきました



参加者とともに阿波踊りを踊りました



篠路中央保育園の園児による熱演風景



ホールでは作品展示、販売、無料体験コーナー等様々なコーナーを設けました

令和6年度 篠路文化祭開催の報告

広報部長 山口 重 則

令和6年10月12日(土)、13日(日)の2日間、篠路コミュニティセンターにおいて篠路文化祭が開催されました。

文化祭の運営は、篠路茨戸連合町内会、

篠路茨戸地区社会福祉協議会、篠路茨戸地区民生委員児童委員協議会、篠路茨戸地区青少年育成委員会、篠路歌舞伎保存会、篠路コミュニティセンターの6団体「篠路文化祭運営チーム」の主催として行われました。

【初日】

ホールでのステージ発表では午前には篠路こども歌舞伎の演舞、午後からは14組による数種の音楽演奏、ダンスや体操の披露、連合町内会からは女性部による篠路音頭の出演がありました。



ロビーでも各催しが行われました

【2日目】

ホールでは、作品展示・販売、紙袋ラントーンコーナー、子ども製作無料体験、2階和室では、前帯結び無料体験・お茶席コーナー、集会室1では絵本読み聞かせがありました。

【開催日 両日】

ロビーでは、子ども縁日、チャリティバザー、喫茶コーナー、2階では食事コーナー、図書室前での古本市が行われました。2日間でお子様からご年配の方々、1800名を超えるご来場をいただき盛会のうちに終了となりました。

篠路茨戸地区3団体

合同防災研修会の報告

防災防犯部長 石田 則安

令和6年11月30日(土) 13時30分から15時において篠路コミュニティセンターで単位町内会・自治会を対象とした防災研修会が開催されました。

この度の研修会は、3団体合同として篠路茨戸連合町内会、篠路茨戸地区民生委員児童委員協議会、篠路茨戸地区社会

福祉協議会の3団体の主催として行われ、87名の参加がありました。

第1テーマとして講師に札幌市保健福祉局総務部より乙部様を講師に「災害発生時の地域での支え合い、要配慮者の避難支援」として取り組みの流れや札幌市の支援内容、また災害に合わせた行動等



3団体合同防災研修会 講演の風景



救急救命処置訓練の様子

について講演をいただきました。
第2テーマは、札幌市北消防署篠路出張所より消防士9名のご参加をいただき、会場参加者は6班に分かれ、救急救命処置について訓練を行いました。
訓練中においては、消防士への質問や参加者間においてさまざまな意見を交換し、救急に対する知識を深めることができました。



文化祭 調理室での活動風景

女性部令和6年度活動 中間報告

篠路茨戸連合町内会

女性部長 宇内光枝

新年おめでとうございます。

令和6年は7月にコミセン祭り・8月に納涼盆踊り・10月は文化祭の各行事において女性部と母の会の皆さんに食事の準備・販売の担当をして頂き、感謝申し上げます。大勢の方の食事の準備をするという事は、いざと言う時の防災訓練にも役立つことと思っ

ております。

女性部では篠路の文化「篠路音頭」を残していきたく活動しております。「篠路音頭」は、昭和58年に郷土民謡として歌詞を公募し、レコードを制作販売、昭和59年9月篠路神社祭から奉納踊りとして始まりました。

この頃は大平・拓北・篠路(現在3連合)が1つの連合町内会でしたが、平成8年にそれぞれの連合町内会が発足、女性部と母の会が交代で担当、平成20年頃より篠路が担当する様になりました。平成29年に介護予防の視点から、リーフレットを作成し普及に努めております。現在、踊り子は20名程に減少しております、多くの方の参加をお待ちしております。



夏祭り 屋台販売風景



篠路音頭練習風景

札幌市篠路茨戸地区

青少年育成委員会の活動

会長 清水和夫

2024年は諸団体等主催まつりの会場設営・撤収作業等に積極的に協力、併せて飲食物出店の実施、概要を記載いたします。



コミセン夏まつりへの出店



篠路文化祭への出店

1 篠路コミュニティセンター夏まつり

7月15日(海の日) 委員14名協力
かき氷・フライドポテト・ポップコーン販売。

2 しのろばらと夏まつり&納涼盆踊り

8月11日(山の日) 委員13名協力
会場設営と撤収、翌日の清掃と資材返却作業に加え、かき氷・たこ焼き他販売。

3 児童養護施設 柏葉荘まつり

9月7日(土) 委員11名協力
柏葉荘調理のカレーライスとたこ焼きをボランティアの女子大学生と共に販売に協力。

4 篠路文化祭

10月12日(土)・13日(日) 委員13名協力
会場設営・撤収作業を担い、コーヒール・お好み焼き・フランクフルトソーセージ他販売。

チヨボラ会と

チヨコットお助けたいの活動

チヨボラ会

事務局長 奥山 睦

世界的に激動の新年が予感される中、我々地域の高齢者にとって、ますます厳しい社会環境の悪化が懸念されています。医療保険、介護保険等にみられる高齢者福祉施策の限界、支援の弱体化で長生きすればするほど苦しくなり、若い世代にも迷惑かけることを心配せざるを得ないなか、出来る事といえば、自らの手で健康寿命を出来る限り長く伸ばすことです。

チヨボラ会はこれまで15年間活動して来ました。できる人が、出来る時、出来る事をチヨコットやる。河川敷に桜樹木の花を咲かせ、花壇に花を咲かせ、高齢者の外出を促すイベント開催、地域の祭りやイベントの支援―社会参加型介護予防活動で健康寿命の伸長を目指してきました。

チヨコットお助けたいについて

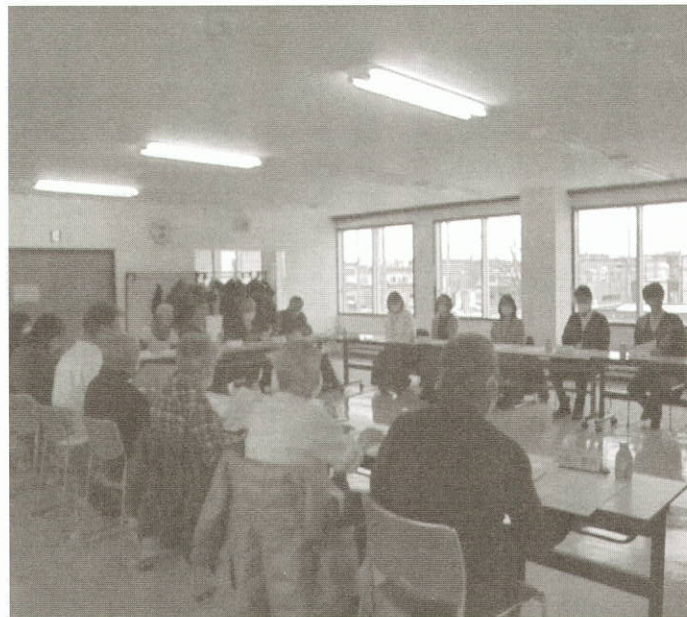
平成31年にそのような活動の中から、「チヨコットお助けたい」(6名で発足)誕生。地域の独居高齢者と高齢者世帯の自立生活を支援する有料(協力金)ボランティア活動の団体。協力金は組織の運営費、資材費、事務費、スタッフ送迎、用具運搬燃料費等に充てる。(現在会員は19名)会員それぞれの置かれた状況の中で決して無理せず、自分が出来ることを生かして会員同士が楽しく交流もしながらボランティア活動を楽しんでいます。

支援内容… 玄関前の除雪・家庭菜園の畑
お越し・枝切り・草刈・物品
の移動・日曜大工等

支援依頼… 090-7645-2073(黒田)
入会申し込み… 090-8371-7146(奥山)



11月5日 桜樹木の冬囲いとネズミ対策ビニール巻き



11月20日 北区社会福祉協議会主催情報交換会

「第四町 作品展」の開催

篠路駅前団地第四町内会

会長 治部 繁美

今年度初めて開催しました「作品展」について紹介します。

11月10日(日)福祉会館で行いました。出品された作品は、絵画(油絵・水彩画・スケッチ)、小学生の習字、切り絵、革製の造形物、手芸アクセサリー等、多岐に渡って展示されました。

鑑賞に来場された町内の方々が、「いいね」とか「上手だね」とか色々話しながら見ていました。

特に切り絵の作品は、「個展を開けるのではないか」等いいながら、熱心に鑑賞していました。



作品展 展示風景

地域住民の安心・安全を

確保するために

小鳩団地町内会

会長 橋本 幸司

小鳩団地町内会では、近年、通り抜け車両が増え、高齢者や子ども達を含め地域住民の安全が脅かされていました。

その対策として町内会の中に速度制限を設けることで子どもから高齢者まで安心して通行できる環境を確保していこうと取り組んだのが「ゾーン30」です。

ゾーン30とは、生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした交通安全対策をいいます。

標識や標示はもちろんのこと、外側線を設けることでスピードダウンにつながることを期待しています。



ゾーン30の標式設置

当然ながら、この区域を時速60キロで走行すると「一発免停」となります。今後、速度超過の取り締まりも行われることとなります。

安心して生活できる事故のない町内会になれば幸いです。

皆さん、スピードの出しすぎには、くれぐれもご注意を！

令和6年度活動報告

十軒こまどり町内会 子ども会

会長 小原 郁乃

十軒こまどり町内会子ども会では、交流を深める場として、8月4日七夕祭り、7月26日～8月2日ラジオ体操、8月7日ろうそく出せ、12月1日クリスマス会と沢山のイベントを開催し、多くの子供たちが参加してくれました。

七夕祭りでは、パフォーマーKUROさんによるジャグリングショーを開催し、子供だけではなく大人も一緒に「おー、すごいー！」と大盛り上がり、今年初めてのクリスマス会では親子制作も取り入れ、親睦を深めることができました。

町内会活動の一環として、来年度以降

も子育て世帯が参加できるイベントを企画・開催していきたいと思ひます。



七夕祭り



クリスマス会

トピック

記念すべき「喜びの年」

篠路歌舞伎保存会

会長 大高 英男

昨年(令和6年)は、本会にとって記念すべき「喜びの年」になりました。令和6年3月に開会された札幌市議会において「篠路歌舞伎」は「札幌市地域文化財」に認定されたことであります。文化財の種類は「無形民俗文化財」です。

これもひとえに本会創成期に多くの困難をのりこえてきた諸先輩諸氏、「子ども歌舞伎」を支えてきた篠路中央保育園の林園長先生はじめ保育士の皆様、行政の御立場から北区市民部地域振興課の御指導、それに篠路地域の各種団体の御理解があったればこそと、皆様に感謝申し上げます。

一昨年(令和5年)「篠路文団協まつり」に参加出演し、朗読劇「唐茄子屋」を会員で演じた際、多くの方から「ヨクヤッタ」と激励されたことは将来の「歌舞伎に挑戦」への礎になったものと思います。



篠路文化祭 子ども歌舞伎の風景

認定を受けた「無形民俗文化財」に恥じない活動を今後とも継続し、後世に繋げていくことを肝に銘じて活動していきたいと考えているところでございます。



篠路文団協まつり 会員による朗読劇風景

札幌市地域文化財証書

篠路歌舞伎

上記の文化財は札幌市地域文化財認定制度
度要綱に基づき地域の中で生まれ、
育まれ、今日まで守り伝えられてきた札幌
市地域文化財であると認めこれを証します

令和6年3月28日

札幌市市民文化局長
前田 真子

2024年度

「全国花のまちづくりコンクール」

奨励賞を受賞して

秋桜名誉会長 春 原 良 三

皆さんは、コミセン横の花畑を見たことがありますか？私たちは地域を花で飾る活動をしている秋桜というボランティアの団体です。花畑には五稜会病院の皆さんや地域の子どものコーナーもあり、年間を通してきれいに花を育ててくれており、今年創立25周年を迎えます。

1年の活動としては、春の花植えに始まり日々の草刈り、地域の子どもたちとの触れ合い、藍の生葉染め、ふれあいバザーなどがあります。昨年、私たちの活動について篠路コミュニティセンター館長様から推薦を頂き「全国花のまちコンクール」に応募したところ、奨励賞を頂くことができました。会員の皆さまにも感謝しているところです。

東京での表彰式では、全国から集まった花で街を飾りたいという同じ志を持つ方との会話から、改めて花に触れることがひとの心を豊かにしてくれるのだと感じました。

私たち秋桜会のモットーは「やれる人が」「やれるときに」「やれるだけ」を合い言葉に会員の個性や都合を尊重した自主的な団

体でもあり、日頃の会員の皆さまの活動が評価され、この度代表して頂いた賞だと思っています。

もうすぐ2025年の活動が始まります。私たちと一緒にお花を植えたい方がおりましたら大歓迎します。



前列右側から春原名誉会長、
春原事務局長

篠路茨戸地区交通事故死

「ゼロ」1000日達成

(令和6年11月6日現在)

令和6年11月7日(木)に、北区役所区長室において北区長より、【篠路茨戸地区交通事故死「ゼロ」1000日達成】を記念し、篠路茨戸連合町内会会長が代表して表彰状を受取りました。

表彰状には「地域の安全安心な暮らしを守るという住民一人ひとりの熱意のたまもの」と記載されており、引き続き交通事故防止に努め、安全安心の暮らしを目指していきましょう。

「社会を明るくする運動」

全国作文コンテストで優秀賞受賞

札幌市北区保護司会篠路茨戸分区

分区長 藤 林 昭 二



左から交通安全母の会 吉田会長
連合町内会 進藤会長

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」は、今回で第74回となります。その中でも作文コンテストは、本運動の一環として、第43回(平成5年)運動から始まり、次代を担う全国の小・中学生に、日常の家庭生活や学校生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりなどについて考えたことや感じたことを作文にすることを通じ、本運動に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

令和6年の作文コンテストには、全国からの応募作品の中から、札幌市立篠路

西中学校の「近藤舞桜さん」が、題名「小さな声掛け、大きなつながり」で全国優秀賞・日本BBS連盟会長賞(中学生の部)を受賞しました。



中央 受賞者 近藤舞桜さん

編集後記

今年度も冬のイベントを残し、あと2か月で終わります。

広報第105号も皆様のご協力を得て、無事発行の運びとなりました、ありがとうございます。

来年度も各事業活動等があります、できるだけ多くの記事を掲載したく思っております。

引き続きご協力のほどお願い申し上げます。

広報部長 山口 重則